

(臨床研究に関する公開情報)

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

当院薬剤部におけるオーバードーズ患者への対応と症例の傾向調査

[研究責任者]

江南厚生病院 薬剤部 内山耕作

[研究の概要]

救急外来には過量服薬（大量の医薬品を短時間で服用すること）で受診される患者さんがいらっしやいます。過量服薬はオーバードーズ（OD）とも呼ばれ、コロナ禍以降、市販薬（OTC）による救急搬送事例が増加していることが社会問題となっています。特に若年層の鎮咳去痰薬等の市販薬(OTC)乱用によるオーバードーズ（OD）が増えていることが問題視され、厚生労働省からも注意喚起されています。そこで当院救急外来を受診したオーバードーズ（OD）患者の傾向を調べることで、オーバードーズ（OD）患者来院時に薬剤部から速やかな情報提供体制を整えることを目指します。

当院薬剤部ではオーバードーズ(OD)患者が搬送された際、救急外来からの求めに応じ、致死量などの情報提供を実施しています。薬剤部では新人教育の一環としてオーバードーズ(OD)患者・中毒患者の教育を実施し、模擬演習を通して問い合わせ時の返答項目の習得を目標としていますが、薬剤部には中毒対応マニュアルがないことから、中毒に関する薬学的アドバイスの有無は各薬剤師の裁量に任せられているなど、薬剤部側からの情報提供内容に一貫性がない事を課題と感じていました。今回オーバードーズ（OD）患者への薬剤部対応の振り返りを実施することで、教育の効果の評価を実施するとともに、不慣れな業務であっても、時間的制約のある中で情報提供の質担保のために業務改善を図るための参考情報とすることで、患者さんへより質の高い医療を提供できると考えます。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2024年10月1日から2025年3月31日の半年間に当院救急外来を受診されたオーバ

ードーズ(OD)患者さん。

●利用するカルテ情報

薬剤部の関与が確認できた症例では薬剤部の初動対応、情報提供内容を調査項目とします。症例の傾向については、患者背景（年齢、性別、基礎疾患、ODの原因薬物など）、使用された治療薬を調査項目とします。

[研究期間]

研究実施許可日～2025年12月31日

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院 薬剤部 内山 耕作

電話 0587-51-3333 FAX 0587-51-3337